

佐伯市の平穏願い茅の輪くぐり 保食神社

【佐伯】佐伯市本匠波寄の保食神社で3日、今年上半期のけがれをほらい、残る半年を無事に過ごせるよう祈願する神事「夏越大祓茅の輪くぐり」があった。

地元住民ら約70人が参列。おほらいを受けた後、久保田成太宮司(72)の後に、境内に設けられた直径約2.5メートルの茅の輪を3回くぐり、無病息災などを祈った。

久保田宮司は「新型コロナウイルスの感染状況はいまだ予断を許さない状況。皆さんと共に一日も早く穏やかな日が戻ってくるよう祈った」と話した。

(山本吉純)



茅の輪をくぐる参列者＝佐伯市本匠波寄の保食神社

大分合同新聞 2022年7月13日(水) 朝刊 16面

